

令和元年（2019年）12月20日  
政策イノベーション部科学技術振興課

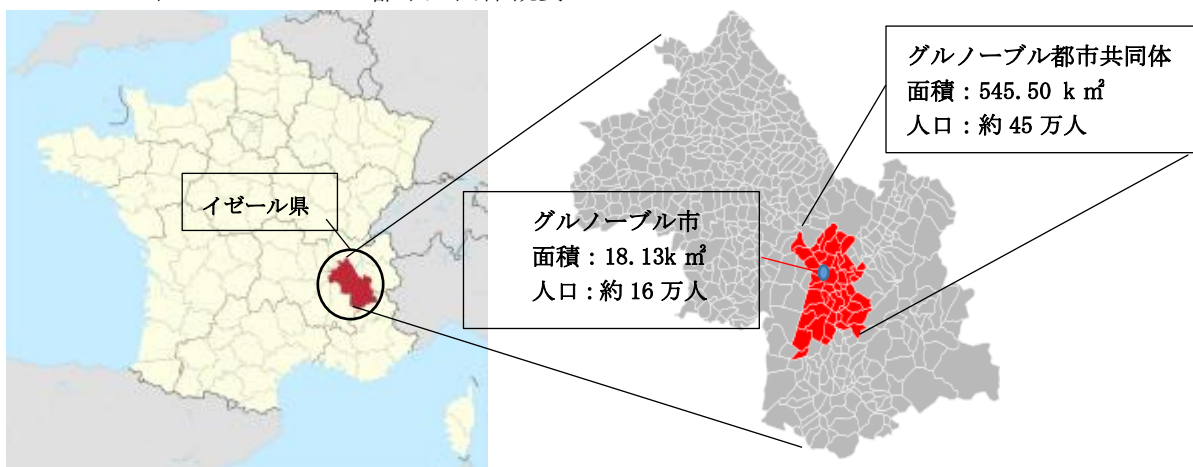
グルノーブル市・グルノーブル都市共同体との三者連携協定の締結について

つくば市とフランス共和国イゼール県グルノーブル市は、2013年11月12日に姉妹都市協定を締結し、市民間交流や国際会議への参画等、継続的な交流を行っています。しかし、経済発展や研究開発等の課題については、グルノーブル市を含む49の近隣市町村から構成する、グルノーブル都市共同体が担っていることから、つくば市とグルノーブル市は、さらなる持続可能な発展及び科学技術の社会還元のため、グルノーブル都市共同体を加えた、三者で連携合意書を締結したいと考えています。

1 姉妹都市交流の歴史

グルノーブル市は、研究機関や高等教育機関が多く立地し、フランスのみならず、欧州の主要研究拠点となっています。つくば市内の研究機関とも交流があることから、つくば市は2012年7月にグルノーブル市で開催された「第1回ハイレベルフォーラム」に招待され、翌2013年11月に科学技術拠点都市として包括的な連携を図るため、筑波大学・グルノーブル大学の連携協定とあわせて、姉妹都市協定を締結し、官・学一体による都市間交流を開始しました。2018年11月に開催された、「第7回ハイレベルフォーラム」に五十嵐市長が出席した際には、グルノーブル都市共同体のフェラーリ議長と対談の機会がもたれ、経済交流を中心とした連携が話題となりました。

2 グルノーブル市・グルノーブル都市共同体概要



3 協定の内容（案）

つくば市とグルノーブル市及びグルノーブル都市共同体の連携を促進させることを目的とします。三者は、研究機関及び大学、企業間の連携事業を支援するとともに、持続可能な発展に関して協力を行います。

＜連携事業の内容＞

- 自治体間による優良事例に関する意見交換
- 経済発展とイノベーション創出のため、両市に立地する研究機関及び大学、企業間交流の促進及びスタートアップ企業が両市で活動するための支援
- 教育、文化、スポーツ交流

※連携事業の詳細については、今後話し合いの中で決めていく予定です。

以上